

令和元事業年度の事業報告書

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

特定非営利活動法人全国盲老人福祉施設連絡協議会

1 事業実施の方針

本会の目的達成の為、次の事業を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

NO. 1

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数等	活動計算書の事業費の金額 (単位：千円)
① 会員施設間の連絡調整に関すること。	A・会員或いは会員施設の代表者等が一堂に会し、施設運営等に関する研修会や情報交換会を開催した。	(A) 令和元年6月5～6日 (B) 大阪市(ホテル日航大阪) (C) 5名	(D) 会員或いは会員施設代表者及び関係者又関心のある方 (E) 58名	5,323
	B・海外人材を含む福祉・介護人材の育成、雇用等に関する新しい情報の提供、並びに本会独自の人材確保事業の企画を検討した。	(A) 令和元年度内 (B) 奈良県(事務局) / 会員施設 (C) 8名	(D) 会員或いは会員施設及び関係者 (E) 全加盟施設	
	C・会員或いは会員施設間の情報交換又コミュニケーションを密にする為、グループウェアの管理により、迅速な対応を行った。	(A) 令和元年度内 (B) 奈良県(事務局) / 会員施設 (C) 2名	(D) 会員或いは会員施設及び関係者又関心のある方 (E) 全加盟施設	
② 会員施設の充実強化並びに盲老人福祉施設開設促進に関すること。	D・盲老人ホーム未設置県に対する啓発活動並びに既計画施設に対しアドバイス等を行った。	(A) 令和元年度内 (B) 奈良県(事務局) (C) 5名	(D) 沖縄県 / 県内盲老人 (E) 20名	9,407
	E・福祉・介護人材難の中、将来の雇用確保にむけて、ベトナムの看護大学と連携し、28名の学生を日本に招聘して日本語や生活習慣について研修させる機会を設けた。	(A) 令和元年7月1日～30日 (B) 奈良県(事務局) / 会員施設 (C) 6名	(D) 会員或いは会員施設及び関係者 (E) 加盟10施設	
	F・会員施設入居者の趣味等活動の中で、録音図書がDAISYに代わりつつある為、その普及について検討した。	(A) 令和元年度内 (B) 奈良県(事務局) / 会員施設 (C) 3名	(D) 会員施設入居者 (E) 4738名	
③ 全国の盲老人並びに聴覚障害老人の福祉増進と開発の諸問題に関する調査研究並びに施設運営についての資料の収集配布。	G・厚労省より発出された「養護老人ホームにおける契約入所」についての情報や現状について意見交換等を行い今後の運営にむけての各種調査実施について検討した。	(A) 令和元年11月19日 (B) 東京都(グランドヒル市ヶ谷) (C) 約10名	(D) 会員施設、入居待機者等 (E) 25加盟施設28名	79

④盲老人福祉、並びに聴覚障害老人福祉に関する事業の情報提供、また啓蒙活動。	H・情報提供、啓発活動の一環として、パンフレットの発行を検討した。	(A) 令和元年度内 (B) 奈良県（事務局） (C) 10名	(D) 全国の市町村／施設関係者／ボランティアその他 (E) 1000名	443
	I・著名人（紀三井寺貫主前田泰道師）による講演会を開催し、参加者に盲老人福祉、聴覚障害老人福祉への理解を求めた。	(A) 令和元年6月5日 (B) 大阪市（ホテル日航大阪） (C) 8名	(D) 会員並びに会員施設職員及びボランティアその他一般人等 (E) 80名	
	J・情報提供、啓発活動の一環としてホームページの管理、運営、更新を行った。	(A) 令和元年度内 (B) 奈良県（事務局） (C) 2名	(D) 会員並びに会員施設職員及びボランティアその他一般人等 (E) 1000名以上	
⑤在宅盲老人並びに聴覚障害老人に対するサービス強化に関する事。	K・会員施設で盲老人並びに聴覚障害老人のケアに関わるリーダー職員が一堂に会し在宅サービスの在り方（地域貢献）に関する勉強会を開催した。	(A) 令和元年11月20日 (B) 大阪市（アウィーナ大阪） (C) 5名	(D) 会員施設職員及び関係者又関心のある方 (E) 34名	482
⑥会員施設職員の資質向上に関する事。	L・会員施設で盲老人並びに聴覚障害老人のケアに関わる新任職員が一堂に会し具体的なサービスの方法、在り方についての勉強会を開催した。	(A) 令和元年6月25～28日 (B) 東京都（青梅市：奥多摩路） (C) 10名	(D) 会員施設職員及び関係者又関心のある方 (E) 21名	5,136
	M・会員或いは会員施設職員に視覚障害者ケアについて一定レベル以上の専門的技術や知識を習得させる認定講習会を開催した。	(A) 令和元年7月30～8月2日 (B) 東京都（戸山サンライズ） (C) 10名	(D) 会員施設職員及び関係者又関心のある方 (E) 18名	
	N・会員施設で盲老人並びに聴覚障害老人のケアに関わるリーダー職員が一堂に会しサービスレベル向上に関する勉強会を開催した。	(A) 令和元年11月20～22日 (B) 大阪市（アウィーナ大阪） (C) 2名	(D) 会員施設職員及び関係者又関心のある方 (E) 34名	
	O・会員施設で盲老人並びに聴覚障害老人のケアに関わる職員が他施設でのケアワークを3日間体験勤務し、自施設での参考とする。	・本事業年度内での応募は無し。		
	P・公的助成機関主催の海外派遣研修、また海外の盲老人福祉視察研修に参加する職員への助成。	・本事業年度内での応募は無し。		
⑦盲老人福祉並びに聴覚障害老人福祉向上のために顕著な貢献をした者（団体）に対する顕彰事業に関する事。	Q・顕彰事業（太陽福祉文化賞）に関する募集、推薦並びに選考を行い3名に授与したが、受賞式については、諸事情により中止となった。	(A) 令和元年度内 (B) 東京都（グランドヒル市ヶ谷） (C) 10名	(D) 会員施設職員並びにボランティア等個人又はグループ (E) 3個人に授与した。	280